

スポット

- ・平成29年度事業計画
- ・平成28年度事業報告
- ・研修報告
- ・新人紹介

あかつき



第73号 2017年9月1日発行

発行／編集 社会福祉法人 あかつきコロニー

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平 1-64-1

☎ 042-560-7840

http://www.akatuki.or.jp Email:soumu@akatuki.or.jp

絵：吉田直矢(あかつき授産所 作業部3課)

平成29年度事業計画

【はじめに】

平成29年4月より社会福祉法人法が施行された。社会福祉法人ではなくても福祉サービスを

ス・まどかにおいて登録者数は定員数を上回るものの、欠勤者が多く施設経営に影響が出ている。

提供する事が可能となった現在、社会福祉法人の在り方が問われている。4月からの改正社会福祉法人法の施行にあわせ、昨年度より定款の変更や新しい役員・評議員体制の構築の準備を進めてきた。今年度より新制度に即しての運営となるが、不備等がないか注意を怠らないよう進めていく。また、来年度には障害福祉サービス報酬改定が行われる。これは法人運営に直接影響のある問題であり、その動向にも注目していく。

利用率の向上に向け、利用登録者を更に増やしていく。その一つとして、周辺地域からの利用者受入れの拡大に向けて送迎範囲を拡大する。ここ数年、自力での通所が難しい方からの利用希望も増えている。特に瑞穂町からの利用ニーズに応える為瑞穂方面への送迎を新たに実施するが、今後も送迎のニーズは増すと予想される。

前年度第三者評価を実施しなかった、瑞穂町福祉作業所さくらにおいて第三者評価を実施する。

の老朽化が深刻化しており、毎年度のようにな具合が生じており、応急処置で凌いでいる状況となっている。耐震工事借り入れ返済終了後の建て替えを目指し、積立資産の確保に努める。また、法人新館部分についても、建築か20年を既に経過しており、不具合が顕在化しており、修繕に対応出来るよう可能な限り積立資産を確保していく。

の作業の種類も量も増えている。作業単価も比較的良く、暫く低迷していた売上は大きく伸びている。今年度は更なる工賃向上に取り組んでいく。

がよい児や、介助を伴う障がい

【就労支援事業活動】

就労支援事業においては、印刷事業は紙印刷の縮小を進め、Tシャツプリント事業を拡大し、軌道に乗せていく。

他に、年々件数は減少傾向にあるが、武蔵村山市との委託契約による紙おむつ給付事業も引き続き取り組んでいく。

また今後、法人内他事業所に於いても増えていくであろうより重度の障がい者への支援の先駆的な取り組みとしてそのノウハウを蓄積していく。

オイルエレメント事業は、納期や品質管理を徹底し、引き続き取引先から信頼が得られるよう取り組んでいく。

瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみを運営して1年が経過した。法人としては、障

また今後、法人内他事業所に於いても増えていくであろうより重度の障がい者への支援の先駆的な取り組みとしてそのノウハウを蓄積していく。

ウエス事業は作業の効率化や経費削減をはかることで収益を出せるように努力していく。また、統括営業部と連携し新規開拓を行い、積極的な事業運営を図る。

瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみを運営して1年が経過した。法人としては、障

また今後、法人内他事業所に於いても増えていくであろうより重度の障がい者への支援の先駆的な取り組みとしてそのノウハウを蓄積していく。

【福祉事業活動】

施設経営面では就労移行支援セ ルプあかつきでは定員割れ、就労継続支援B型あかつき授産所及び就労継続支援B型スぺー

虐待防止への取り組みとして虐待防止マネジャーによる会議の開催、虐待防止委員会を立ち上げる。

まどか作業部門においては、ここ1、2年で新規取引先から

瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみを運営して1年が経過した。法人としては、障

また今後、法人内他事業所に於いても増えていくであろうより重度の障がい者への支援の先駆的な取り組みとしてそのノウハウを蓄積していく。



い、瑞穂町障害者就労支援センターをそれぞれの自治体と受託契約を結び実施する。2つのセンターでは障がい者の就職者数を上げていくことと同時に、仕事を継続していくための定着支援、生活支援にも力を入れて、障がい者が安定して働いていくよう努力していく。

地域との協力のもと、福祉計画に基づき地域の障がい者福祉の向上に尽力していく。障害支援区分審査会への委員派遣、自立支援協議会委員の派遣を継続するとともに、自立支援協議会傘下の各部会と就労プロジェクトへも積極的に関わっていく。また地域の福祉作業所や関係団体と連携をはかりネットワーク化を推進し、地域の障がい者・児の生活がより豊かとなるよう福祉サービスの充実を図っていく。

2017（平成29）年度あかつきコロニー予算書

自2016年（平成28年）4月1日 至2017年（平成29年）3月31日

法人全体

（単位：千円）

勘定科目			本年度予算	前年度予算	差異
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	101,600	118,600	△ 16,900
		障害福祉サービス等事業収入	292,423	291,434	989
		生活保護事業収入	440	472	△ 32
		その他事業収入	32,375	32,425	△ 50
		借入金利息補助金収入	94	94	0
		経常経費寄附金収入	330	330	0
		受取利息配当金収入	5	7	△ 2
		その他の収入	1,542	1,657	△ 115
		事業活動収入計（１）	428,809	444,919	△ 16,110
	支出	人件費支出	260,641	256,518	4,123
		事業費支出	24,291	24,070	221
		事務費支出	36,044	37,811	△ 1,767
		就労支援事業支出	101,600	118,500	△ 16,900
支払利息支出		120	120	0	
事業活動支出計（２）		422,696	437,019	△ 14,323	
事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）		6,113	7,900	△ 1,787	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0
		設備資金借入金収入	0	0	0
		その他の施設整備等による収入	0	0	0
		施設整備等収入計（４）	0	0	0
	支出	設備資金借入金元金償還支出	792	1,992	△ 1,200
		固定資産取得支出	0	1,382	△ 1,382
		その他の施設整備等による支出	163	163	0
		施設整備等支出計（５）	955	3,537	△ 2,582
	施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）		△ 955	△ 3,537	2,582
	その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	1,500
拠点区分間繰入金収入			8,900	10,400	△ 1,500
サービス区分間繰入金収入			2,405	3,827	△ 1,422
その他の活動による収入計（７）			11,305	15,727	△ 4,422
支出		積立資産支出	3,000	5,000	△ 2,000
		拠点区分間繰入金支出	8,900	10,400	△ 1,500
		サービス区分間繰入金支出	2,405	3,827	△ 1,422
		その他の活動による支出計（８）	14,305	19,227	△ 4,922
その他の活動資金収支差額（９）＝（７）－（８）		△ 3,000	△ 3,500	500	
予備費支出（10）		2,158	863	1,295	
当期資金収支差額合計（11）＝（３）＋（６）＋（９）－（10）		0	0	0	
前期末支払資金残高（12）			111,761	99,004	12,757
当期末支払資金残高（11）＋（12）			111,761	99,004	12,757

平成28年度事業報告

平成28年4月に障害者差別解消法が施行された。違いを認め合う社会の実現を目指したこの法が施行された正にその年に津久井やまゆり園の事件は起きた。非常に悲しく、衝撃的な事件で到底許される事ではないが、この事件を通して社会には障がい

差額では1、276万円となった。このうち、就労支援事業を除いた当期活動増減差額は247万円、当期資金収支差額は1、058万円であった。修繕や建替えの為に積立資産として合計500万円を計上する事ができた。

に対する意識的、無意識的な差別や偏見がまだまだある事も痛感させられた。同時に、福祉に携わる者として私達自身が無意識のうちに差別や偏見に基づいた判断、対応をしていないか考えさせられた。そして「共に働く・共に生きる・共に創る」という法人理念の下、私達の支援の姿勢や言動について、改めて振り返り、確認していく事の重要性を感じた。

セルプあかつき、あかつき授産所、スペース・まどかにて第三者評価を受審した。

一般就職者数は、就労移行支援セルプあかつきから4名、就労継続支援B型あかつき授産所、同じくスペース・まどかから各1名と、合計6名出す事ができた。

人事考課制度により半年に一度、各職員と上位職員が個別面談を通して、業務上の課題や目標を確認した。

【福祉事業活動】
法人全体では当期活動増減差額が458万円、当期資金収支

利用者支援の向上への取り組みとして、リスクマネジメント委員活動によるリスクへの対応

の検討や、支援の点検としての虐待防止チェックリスト活用、虐待防止マネジャー会議の開催、障がい者の権利擁護や虐待防止法関係の研修に積極的に参加した。

東京都や東社協、地域自立支援協議会、一般社団法人ゼンコロ等の主催する外部研修への参加の他に内部研修として、職員向けにメンタルヘルス研修を実施した。

【就労支援事業活動】

就労支援事業は、印刷事業を除く全ての事業で黒字となった。事業毎の増減差額は、オイルエレメント事業176万円、ウエス事業108万円、軽作業44万円、まどか事業86万円、紙おむ

つ事業111万円、さくら事業35万円だった。印刷事業の収支差額は△105万円と赤字だったが、前年度の△515万円から大きく改善された。これにより法人全体での就労支援事業の増減差額は456万円であった。

印刷事業は、紙印刷の縮小を進め、これに代わる事業として

Tシャツプリント事業を立ち上げた。

オイルエレメント事業を実施している作業部1課に於いては、6月30日にISO9001を取得した。

就労継続支援B型3施設中、スペース・まどか、瑞穂町福祉作業所の2施設で、利用者の平均工賃を上げることができた。

【地域福祉】

4月より瑞穂町との指定管理契約のもと、心身障害者（児）福祉センターあゆみの運営を開始した。受託初年度はこれまで

受託していた事業者の支援方針や運営内容を継続し、利用者やご家族との信頼関係作りを重点をおいた取り組みを実施した。

あかつきコロニー相談支援センターは開設して4年が経過した。8月に障害児相談支援事業

の指定を受け、障がい者・児両方の相談支援を受けられるようになった。計画相談、継続利用支援併せて250件作成し、前年度比で120件増加した。

武蔵村山市障害者就労支援セ

ンターとらいに於いては特に定着支援に力を入れた。3月末現在登録者数が257名となり、就職者を34名出すことができた。新規登録者は42名だった。新たな就職先として2社開拓する事が出来た。

瑞穂町障害者就労支援センターは、3月末現在の登録者は115名となり、年々増加傾向にある。就職者数は14名出すことができた。

地域の取り組みとして、武蔵村山市障害支援区分審査会（介護給付費等の支給に関する審査会）への職員派遣、武蔵村山市自立支援協議会とこれに付随するプロジェクト委員会、専門部会への職員派遣及び瑞穂町自立支援協議会への職員派遣等を行い地域福祉向上への取り組みに協力した。

他にも各地域の関係機関・団体との会議、連絡会を通して、福祉のニーズや課題を共有し、障がい者・児の支援の向上を目指したネットワーク作りを推進した。

貸 借 対 照 表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	137,591,445	119,602,177	17,989,268	流動負債	32,536,867	17,446,456	15,090,411
現金預金	95,002,861	75,232,792	19,770,069	事業未払金	12,766,351	13,477,875	△ 711,524
事業未収金	14,323,104	17,214,108	△ 2,891,004	その他の未払金	17,968,155	13,355,959	4,612,196
未収金	35,149,249	35,206,826	△ 57,577	1年以内返済予定設備資金借入金	792,000	1,992,000	△ 1,200,000
受取手形	427,547	404,313	23,234	未払費用	2,792,258	2,839,953	△ 47,695
商品・製品	2,471,990	2,450,990	21,000	預り金	52,521	461,972	△ 409,451
原材料	3,443,571	2,692,194	751,377	職員預り金	239,035		239,035
立替金	1,301,543	1,086,757	214,786	仮受金	782,350	4,500	777,850
前払金	70,754		70,754	賞与引当金	11,830,000		11,830,000
前払費用	84,629		84,629	その他の流動負債	△ 14,685,803	△ 14,685,803	
仮払金	2,000		2,000	固定負債	4,752,000	5,544,000	△ 792,000
その他の流動資産	△ 14,685,803	△ 14,685,803		設備資金借入金	4,752,000	5,544,000	△ 792,000
固定資産	265,615,444	270,322,938	△ 4,707,494	負債の部合計	37,288,867	22,990,456	14,298,411
基本財産	218,081,330	222,902,873	△ 4,821,543	純 資 産 の 部			
土地	92,920,862	92,920,862		基本金	156,178,608	156,178,608	
建物	125,160,468	129,982,011	△ 4,821,543	基本金	156,178,608	156,178,608	
その他の固定資産	47,534,114	47,420,065	114,049	国庫補助金等特別積立金	126,746,121	132,345,977	△ 5,599,856
構築物	2	2		国庫補助金等特別積立金	126,746,121	132,345,977	△ 5,599,856
機械及び装置	6,724,875	10,352,287	△ 3,627,412	その他の積立金	33,491,748	29,991,868	3,499,880
車輛運搬具	343,390	343,390	0	備品購入積立金	8,184,337	8,684,457	△ 500,120
器具及び備品	6,614,145	6,554,804	59,341	修繕積立金	21,538,886	18,538,886	3,000,000
権利	177,714	177,714		人件費積立金	2,468,525	2,468,525	
備品購入積立預金	7,000,000	6,000,000	1,000,000	施設整備積立金	1,000,000		1,000,000
修繕積立預金	11,445,000	8,445,000	3,000,000	基本特定積立金		300,000	300,000
基本特定積立資産	300,000	300,000		次期繰越活動増減差額	49,501,545	48,418,206	1,083,339
その他の積立資産	14,746,748	15,246,868	△ 500,120	次期繰越活動増減差額	49,501,545	48,418,206	1,083,339
長期前払費用	182,240		182,240	(うち当期活動増減差額)	4,583,219	17,402,226	△ 12,819,007
				純資産の部合計	365,918,022	366,934,659	△ 1,016,637
資産の部合計	403,206,889	389,925,115	13,281,774	負債及び純資産の部合計	403,206,889	389,925,115	13,281,774

資金収支計算書

(自) 平成28年4月1日 (至) 平成29年3月31日

(単位:円)

勘 定 科 目			予 算	決 算	差 異
事業活動による収支	収 入	就労支援事業収入	118,500,000	120,433,826	1,933,826
		障害福祉サービス等事業収入	323,859,000	321,343,019	△ 2,515,981
		生活保護事業収入	472,000	597,318	125,318
		借入金利息補助金収入	94,000	68,451	△ 25,549
		経常経費寄附金収入	330,000	292,379	△ 37,621
		受取利息配当金収入	7,000	8,067	1,067
		その他の収入	1,657,000	1,597,877	△ 59,123
		事業活動収入計(1)	444,919,000	444,340,937	△ 578,063
	支 出	人件費支出	256,578,000	251,944,756	4,633,244
		事業費支出	24,010,000	21,311,136	2,698,864
		事務費支出	37,811,000	32,146,829	5,664,171
		就労支援事業支出	118,500,000	118,259,370	240,630
		支払利息支出	120,000	77,139	42,861
		その他の支出		788,707	△ 788,707
		事業活動支出計(2)	437,019,000	424,527,937	12,491,063
事業活動資金収支差額(3)=(1)－(2)		7,900,000	19,813,000	11,913,000	
施設整備等による収支	収 入				
		施設整備等収入計(4)			
	支 出	設備資金借入金元金償還支出	1,992,000	1,992,000	
		固定資産取得支出	1,382,000	1,382,400	△ 400
		その他の施設整備等による支出	163,000	182,240	△ 19,240
		施設整備等支出計(5)	3,537,000	3,556,640	△ 19,640
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)－(5)		△ 3,537,000	△ 3,556,640	△ 19,640
その他の活動による収支	収 入	積立資産取崩収入	1,500,000	1,500,120	120
		拠点区分間繰入金収入	10,400,000		△ 10,400,000
		サービス区分間繰入金収入	3,827,000		△ 3,827,000
		その他の活動収入計(7)	15,727,000	1,500,120	△ 14,226,880
	支 出	積立資産支出	5,000,000	5,000,000	
		拠点区分間繰入金支出	10,400,000		10,400,000
		サービス区分間繰入金支出	3,827,000		3,827,000
		その他の活動支出計(8)	19,227,000	5,000,000	14,227,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)－(8)		△ 3,500,000	△ 3,499,880	120
	予備費支出(10)		863,000	—	863,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)－(10)			12,756,480	12,756,480	

前期末支払資金残高(12)		99,004,537	99,004,537
当期末支払資金残高(11)+(12)		111,761,017	111,761,017

事業活動計算書

(自) 平成28年4月1日 (至) 平成29年3月31日

第2号の1様式

(単位: 円)

勘 定 科 目			当年度決算	前年度決算	増 減
サービス活動増減の部	収 益	就労支援事業収益	120,433,826	125,315,122	△ 4,881,296
		障害福祉サービス等事業収益	321,343,019	254,440,631	66,902,388
		生活保護事業収益	597,318	290,620	306,698
		経常経費寄附金収益	292,379	362,160	△ 69,781
		サービス活動収益計(1)	442,666,542	380,408,533	62,258,009
	費 用	人件費	263,774,756	191,921,297	71,853,459
		事業費	21,311,136	15,915,772	5,395,364
		事務費	32,146,829	25,885,004	6,261,825
		就労支援事業費用	118,321,309	134,271,868	△ 15,950,559
		減価償却費	8,937,694	11,809,041	△ 2,871,347
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 5,599,856	△ 7,344,762	1,744,906
		サービス活動費用計(2)	438,891,868	372,458,220	66,433,648
	サービス活動増減差額(3)=(1)－(2)		3,774,674	7,950,313	△ 4,175,639
サービス活動外増減の部	収 益	借入金利息補助金収益	68,451	95,223	△ 26,772
		受取利息配当金収益	8,067	21,271	△ 13,204
		その他のサービス活動外収益	1,597,877	1,185,811	412,066
		サービス活動外収益計(4)	1,674,395	1,302,305	372,090
	費 用	支払利息	77,139	105,063	△ 27,924
		その他のサービス活動外費用	788,707	489,894	298,813
		サービス活動外費用計(5)	865,846	594,957	270,889
	サービス活動外増減差額(6)=(4)－(5)		808,549	707,348	101,201
経常増減差額(7)=(3)+(6)		4,583,223	8,657,661	△ 4,074,438	
特別増減の部	収 益	施設整備等補助金収益		148,650	△ 148,650
		その他の特別収益		9,511,627	△ 9,511,627
		特別収益計(8)		9,660,277	△ 9,660,277
	費 用	固定資産売却損・処分損	4	767,062	△ 767,058
		国庫補助金等特別積立金積立額		148,650	△ 148,650
		特別費用計(9)	4	915,712	△ 915,708
	特別増減差額(10)=(8)－(9)		△ 4	8,744,565	△ 8,744,569
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		4,583,219	17,402,226	△ 12,819,007	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		48,418,206	31,065,021	17,353,185
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		53,001,425	48,467,247	4,534,178
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)		1,500,120	5,450,959	△ 3,950,839
	その他の積立金積立額(16)		5,000,000	5,500,000	△ 500,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)－(16)		49,501,545	48,418,206	1,083,339

財 産 目 録
平成29年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—	運転資金として	—	—	95,002,861
事業未収金		—	就労支援事業収入未収金	—	—	14,323,104
未収金		—	3月分訓練等給付費	—	—	35,149,249
受取手形		—	就労支援事業収入未収金	—	—	427,547
商品・製品		—	就労支援事業商品棚卸し	—	—	2,471,990
原材料		—	就労支援事業材料棚卸し	—	—	3,443,571
立替金		—	3月分諸経費	—	—	1,301,543
前払金		—	保険料	—	—	70,754
前払費用		—	保険料	—	—	84,629
仮払金		—		—	—	2,000
その他の流動資産		—		—	—	△ 14,685,803
流動資産合計						137,591,445
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	法人本部拠点 4		第二種社会福祉事業、公益事業に使用	92,920,862		92,920,862
建物	法人本部拠点 7、あかつき授産所拠点 1		第二種社会福祉事業、公益事業に使用	385,993,499	260833031	125,160,468
基本財産合計						218,081,330
(2) その他の固定資産						
構築物	避難用ブリッジ あかつき授産所拠点	—	第二種社会福祉事業であるあかつき授産所に使用	675,000	674,998	2
機械及び装置	四色機等 計44点	—	事業運営に使用	155,097,904	148,373,029	6,724,875
車輛運搬具	計12台	—	利用者送迎、就労支援事業用	21,284,739	20,941,349	343,390
器具及び備品	PC、空調設備等 計63点	—	事業運営に使用	25,326,724	18,712,579	6,614,145
権利	電話加入権	—	事業運営に使用	—	—	177,714
備品購入積立預金	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械等の購入・交換の目的のための積立	—	—	7,000,000
修繕積立預金	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械・建物等の修理・修繕の目的のための積立	—	—	11,445,000
基本特定積立資産	りそな銀行 村山支店	—	基本財産として保有する	—	—	300,000
備品購入積立預金	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械等の購入・交換の目的のための積立	—	—	1,184,337
修繕積立預金	りそな銀行 村山支店 他	—	器具・機械・建物等の修理・修繕の目的のための積立	—	—	10,093,886
人件費積立預金	多摩信用金庫 残堀支店	—	給与及び賃金等、職員処遇に必要な経費に充てるための積立	—	—	2,468,525
施設整備積立金	りそな銀行 村山支店	—	将来における建物建替えの目的のための積立	—	—	1,000,000
長期前払費用		—	保険料	—	—	182,240
その他の固定資産合計						47,534,114
固定資産合計						265,615,444
資産合計						403,206,889
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分 水道光熱費 他	—		—	—	12,766,351
その他の未払金	3月分 水道光熱費 他	—		—	—	17,968,155
1年以内返済予定設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構	—		—	—	792,000
未払費用	3月分 水道光熱費 他	—		—	—	2,792,258
預り金	3月分 源泉所得税 他	—		—	—	52,521
職員預り金	3月分 源泉所得税 他	—		—	—	239,035
仮受金		—		—	—	782,350
賞与引当金		—		—	—	11,830,000
その他の流動負債		—		—	—	△ 14,685,803
流動負債合計						32,536,867
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構	—		—	—	4,752,000
固定負債合計						4,752,000
負債合計						37,288,867
差引純資産						365,918,022

研修報告

就労移行支援
セルフあかつき
サービス管理責任者

西出 英高

1、初めに

今日利用者に対する支援はさまざまな機関、専門職が多方面からおこなわれます。その為私たちは様々な会議を開催します。事業所内にて職員間での打ち合わせから、相談支援専門員、サービス管理責任者、生活支援員、ケースワーカー、ヘルパーなど複数の事業所からチームを形成して会議を開く事もあります。また時には主治医が参加する場合もあります。関係者一同より良い支援の為に意見を出し合うのですが、「より広い視野から支援計画を立案する」事が出来る利点がある反面、会議にて支援方針を固める為に時間がかかってしまうなど、欠点もあります。そこで私たち支援員にとっては支援スキル以外にも、限られた時間の中で効率良く会議を進める為に、様々な意見を集約するスキルが求められます。

今回はそのスキルアップを目的として二つの研修に参加しました。共に東京都社会福祉協議会の主催で行われました。この場をお借りしてそれぞれの研修についてご報告をさせて頂きたいと思います。

2、「チームで連携を」

協力への糸口を見つけよう

平成29年7月1日

場所：飯田橋セントラルプラザ

こちらの研修は、30名弱の方々それぞれ5名程度6つのグループに分かれ、テーマに沿って討議を行う内容のものでした。

参加されたのは障害者福祉に限らず、高齢者施設や児童施設等幅広い分野で働かれている方々でした。

テーマの内容は、「食事制限がある方への支援方法」「服薬ミスが起こらない様にする対策」の二つに絞られ、グループ討議が行われました。グループがチームとして、時間内に全員の合意のもと、最善の方法を導き出す事をルールとして、グループ討

議のプロセスを確認し合う事がこの研修で求められました。

司会進行役を私が務め、様々な意見をまとめるのに苦労しましたが、まさに私が日々の会議にて普段からより良いものに改善出来ないか、思い描いていた物を試す絶好の機会を頂く事が出来ました。

3、「社会福祉の専門家としての職員の成長を支える」

人と職場の育ち方解決志向

アプローチを活用して

平成29年7月3日

場所：東京都社会福祉保健医療研修センター

こちらの研修では、事業所内を想定して、より良い支援体制を構築する為に必要な、職員間でのコミュニケーションスキルについて学ぶ内容のものでした。

まず研修の初めに「解決志向アプローチ」について学びました。「解決志向アプローチ」とは、問題の解決に向けてその原因や改善すべき点を追求するのではなく、解決に役立つ能力や可能性に焦点を当ててそれらを伸ばし

ていくことで解決を図る方法です。「何がいけないのだろうか?」と考える代わりに、「これから何が必要なのだろうか?」と考える方法です。私共は以前より解決志向アプローチを支援に用いていますが、このような特徴があるために、勇気づけられ希望を持って前進していける方が増えてきていると感じています。

次に「スーパービジョン」というものについて学びました。「スーパービジョン」とは指導者と指導を受ける者との関係間における対人援助法で、支援員などが常に専門家としての資質の向上を目指す為の教育方法です。

利用者がより良い支援を受ける為には、職員個々により高い支援スキルが求められます。しかし、いくら高い支援スキルを持った職員がいても、一人では「真に利用者にとって有益な支援」をする事に限界があります。そこで、高いスキルを持った職員同士がチームとして連携し機能する事が必要になります。更には利用者へのサービスが量的・質的に最高の水準となる様に取り組む事が求められます。それらの事を、改めて感じる良い機会になりました。

4、終わりに

利用者にとって、良い支援を受ける事が出来るかどうかの条件の一つは、支援する職員や事業所の力にかかっていると思います。職員一人一人が日々努力を惜しまず支援スキルを高め、また各々が高い支援スキルを持ち寄って最高の水準をみたとすチームを形成して支援していくことが求められており、それがまさに私共の目指すところだと思います。

私個人と致しましても支援スキルの向上を目指し、チームの中で機能しなければならぬ人材になる事は勿論、今後更に人材を育てる立場にならなくてはなりません。

今回の研修を通して、関係機関、職場内等様々な角度からのチーム形成に関わるコミュニケーション能力向上のコツを学ぶことが出来ました。そして福祉を仕事としている身として改めて責任重大な職務に就いている事を再確認いたしました。

今後、益々日々の努力に励んでいきたいと考えております。

新人紹介

みなさんよろしくお願いま〜す！！



■ 4月からあかつきに入りました。しゅみはおしゃれ、デコレーション、おかし作りです。よろしくおねがいします。

作業部2課
飯野 那菜さん



■ 平成29年3月27日より福祉作業所さくらにてお世話になっております。前職は高齢福祉をしていましたが自分の福祉という分野のスキル向上を目指し障害福祉の勉強をしたいと思いました。ご指導の程、よろしくお願ひ致します。

さくら
関田 信弘さん



■ 3月からセルフあかつきにはいりましたしゅみは、ゲームです。あとは、立川のセカゲームセンターに行くことです。よろしくおねがいします。

セルフあかつき
涌井 伸吾さん



■ 「そうじのおばさん、あついなかごろうさん」っていつてくれました。わたしは「そうじごろうさん」っていわれてうれしかった。友だちができてたのしいです。仕事がなれてきてたのしいです。

清掃員
乙幡まゆみさん



■ 今年の2月からセルフあかつきに入りました。しゅみはテレビを見る事です。セルフあかつきの目標は社会人らしい行動にを身に付ける事です。よろしくお願ひします。

セルフあかつき
笠原 丹さん



■ 6月からセルフあかつきに移りました。色々新しいことに挑戦して、就職を目指し、頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

セルフあかつき
古澤 哲也さん



■ 5月から作業部2課でお世話になってます。利用者の皆様と一緒に、明るく元気をモットーに頑張っていきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

作業部2課
高橋 美智さん



■ 4月に入社しました、山田純です。まだ3か月という短期間で分からないことも多々ありますが、早く慣れるよう頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

さくら
山田 純さん



■ 4月から作業部3課に入りました。しゅみは「すもう観賞」です。3課での仕事をがんばりますので、よろしくお願ひします。

作業部3課
岩永 愛美さん



■ 4月から作業部3課に入りました。しゅみは「本を読むこと」です。3課での仕事をがんばります。よろしくお願ひします。

作業部2課
諸江 泉文さん



■ 4月からあかつきに入りました。しゅみはサッカーなどの運動です。少しずつ皆さんと仲良くなりたいと思います。よろしくお願ひします。

授産所
山下 樹さん



■ 七月から非常勤職員として勤務している池谷と申します。みなさんと楽しく作業できたらいいなと思ひます。わからないことばかりなので、みなさん色々教えてください。よろしくお願ひします。

作業部3課
池谷 恵子さん



■ 福祉作業所さくらにて皆さんと一緒に一歩一歩成長していきますので、よろしくお願ひ致します。

さくら
堀之内勇志さん



■ 六月より、あかつき授産所に三日(月、木、金)、スペースまどかに二日(火、水)、お世話になってます。よろしくお願ひします。

配送員
細川 法義さん

主な事柄

主な事柄	
1月	5 新年会 (法人施設) 12 保護者会 (あゆみ地活) 13 保護者会 (あゆみタイムケア) 15 瑞穂町駅伝大会参加 24 地震避難訓練 (あゆみタイムケア) 31 地震避難訓練 (あゆみ地活)
2月	3 トラック協会交通安全講習会 (セルブ) 6 第三者評価フィードバック (セルブ、まどか) 15 第三者評価フィードバック (授産所) 20 虐待防止マネジャー会議 理事会・評議員会 火災避難訓練 (法人施設) 23 地震避難訓練 (あゆみ地活) 27 地震避難訓練 (あゆみタイムケア)
3月	11 のぞみ祭り (戸村、小俣) 15 評議員選任・解任委員会 保護者会 (授産所) 19 ユニバーサルスポーツ大会 (あゆみ)
4月	12 QMSサーベイランス審査 (作業部一課 13日迄) 18 保護者会 (あゆみタイムケア) 20 保護者会 (あゆみ地活) 25 地震避難訓練 (法人施設) 27 地震避難訓練 (あゆみ地活)
5月	19 監事監査 春季レク (法人施設) 22 監事監査 地震避難訓練 (あゆみタイムケア) 23 地震避難訓練 (あゆみ地活) 29 理事会 (あゆみ地活)
6月	13 瑞穂町民生員あゆみ見学来所 (7名) 15 地震避難訓練 (あゆみ地活) 17 地震避難訓練 (あゆみタイムケア) 18 瑞穂町ふれあい運動会 (さくら・あゆみ)
7月	27 理事会・評議員会 地震避難訓練 (あゆみタイムケア) 28 地震避難訓練 (あゆみタイムケア)
出張・研修	
1月	7 瑞穂町賀詞交換会 (高橋・五十嵐) 10 武蔵村山市市長挨拶 (高橋・利根川・遠藤) 11 会計決算実務研修会 (遠藤 12・25日) 13 業務連絡会 (熊谷) 17 武蔵村山市放課後等デイサービス部会 (遠藤、神山) 武蔵村山市相談支援部会 (神山、小室) 18 会計決算実務研修会 (益本 19・25日) 精神保健福祉講演会 (熊谷、稲場) 19 ゼンコロ生活介護研修 (20日迄 米倉、利根川) 人権研修 (田中、増淵) 就労ネット (利根川、西出) 社会福祉法人会計研修 (永井) 人権研修 (6名参加)
2月	2 ゼンコロ運営委員会 (遠藤 3日迄) 7 東社協身障部会 (永井) 業務連絡会 (熊谷) 10 業務連絡会 (熊谷) 13 じゅさんれん企画委員会 (熊谷)
3月	1 権利擁護・苦情対応研修 (藤澤・西出) 2 ゼンコロ理事会・総会 (高橋・遠藤 3日迄) 9 メンタルヘルス研修会 (法人施設) 10 業務連絡会 (熊谷) 11 知的発達部会勉強会 (西出) 15 瑞穂町施設・団体連絡会 (高橋・五十嵐) 17 発達障害シンポジウム (神山、米倉) 21 武蔵村山市相談支援部会 (神山、小室) 23 精神保健福祉士実習指導者講習会 (戸村 24日迄) 就労ネット (利根川・西出) 27 理事会・評議員会
4月	5 じゅさんれん企画委員会 (熊谷) 13 ゼンコロ運営委員会 (遠藤 14日迄)
5月	12 業務連絡会 (熊谷) 16 武蔵村山市相談支援部会 (神山、小室) 18 北多摩西部施設連絡会 (高橋) 22 東社協身障部会総会 (永井) 25 武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・利根川) 就労ネット (高橋・大野)
6月	1 ゼンコロ理事会・総会 (高橋・遠藤 2日迄) 9 業務連絡会 (熊谷) 20 虐待防止マネジャー会議 瑞穂町施設・団体連絡会 (高橋・五十嵐・戸村) 22 東社協初任者研修 (長沼 23日迄) 23 就労ネット (高橋一) 26 サビ管研修2日課程 (高橋・戸村) 28 武蔵村山市日中活動部会 (永井)
7月	1 知的発達障害部会学習会 (西出)

3 東社協スーパージョイン研修
(西出・戸村)

14 業務連絡会
(熊谷)

18 相談支援事業者部会
(神山 小室)

19 就業支援基礎研修
(高橋一・21日まで)

27 就労ネット
(利根川・高橋一)

寄贈

2月3日、トラック協会様より図書カード、サイクロン式クリーナー、サイクロン式ティッククリーナーのご寄贈を頂きました。謹んで御礼申し上げます。

入所・退所

入所

2月 笠原 舟 (セルプ)

佐藤 直子 (授産所)

住友 真大 (まどか)

笹嶋 克広 (まどか)

乙幡まゆみ (清掃)

3月 涌井 伸吾 (セルプ)

関田 信弘 (さくら)

4月 山下 樹 (授産所)

飯野 那菜 (授産所)

退所

2月 福井美津子 (授産所)

3月 初貝由美子 (授産所)

吉田 孝子 (授産所)

4月 島田けい子 (さくら)

豊泉 光二 (まどか)

小島 光宏 (授産所)

向坂 弘美 (授産所)

大和 順一 (授産所)

5月 上田 吉男 (まどか)

加藤希美子 (まどか)

6月 古澤 哲也 (まどか)

片山 卓哉 (セルプ)

福岡 菜央 (セルプ)

7月 宮田 美紀 (セルプ)

佐藤 直子 (授産所)

伊藤 誠 (まどか)

富永 洋幸 (セルプ)

諸江 泉文 (授産所)

岩永 愛美 (授産所)

6月 山田 純 (さくら)

5月 高橋 美智 (授産所)

古澤 哲也 (セルプ)

6月 細川 法義 (配送)

堀之内勇志 (さくら)

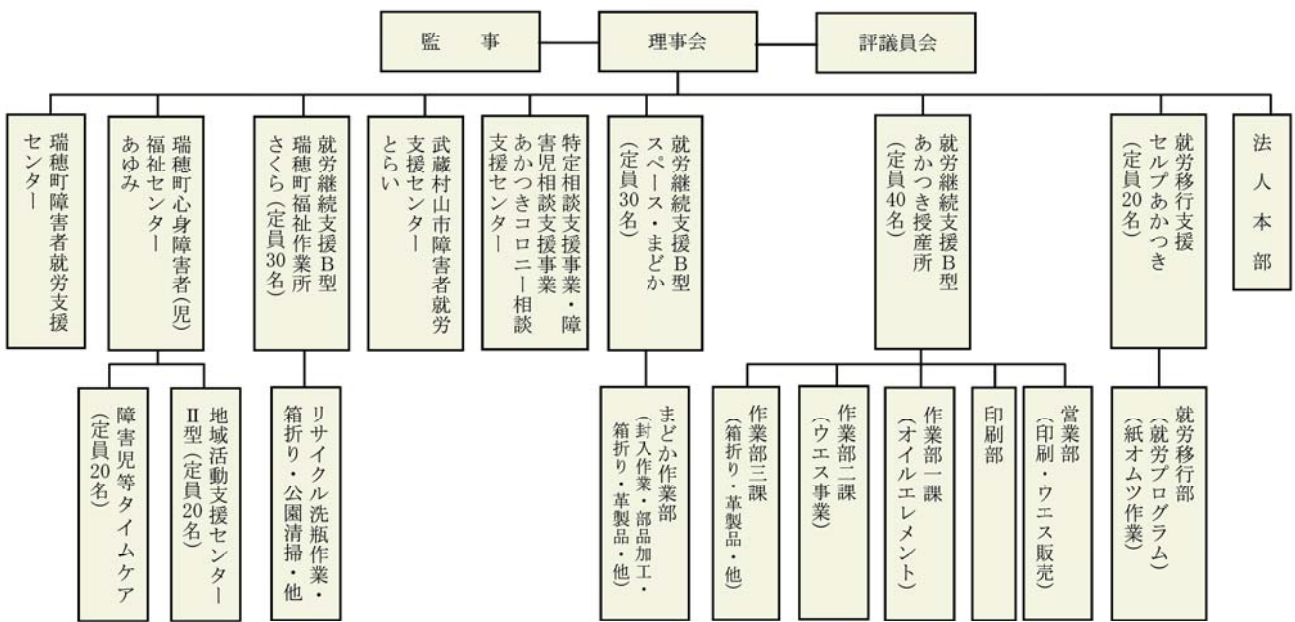
7月 池谷 恵子 (授産所)

宮田 美紀 (まどか)

計報

スベース・まどかの伊藤誠さんが7月5日お亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

あかつきコロニー組織図



役員・評議員

理事

常務理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

鈴木 賢一

高橋 毅

湯澤 弘

永井 眞

熊谷 昌博

五十嵐 崇

田代 政和

岩瀬 成朋

前崎 一郎

小峯 邦明

浅川 勤

川崎 忠正

三好 通生

栗原 康明

岩瀬 香世